

あ い さ つ

青 木 村

おはようございます。

本日、令和8年第2回青木村議会6月定例会を招集いたしましたところ、全議員の皆様方にご出席をいただき、また日頃より村政の運営にご理解とご支援をいただき感謝申し上げます。

村内の田植えも終わり青田が輝く風景に、今年の豊作を予感させてくれています。

今年は憲法の公布から80年の節目にあたります。これに関して、テレビ、新聞ではたくさんの特集が組まれておりました。その中で、「憲法の番人」と呼ばれる最高裁の長官を務めた島田 仁郎（しまだ にろう）さんが、「平和や基本的人権を尊ぶ現憲法の精神は世界に誇れるもので、大切にしなければならない。世界では、法ではなく力による支配がまん延している。そんな今だからこそ、長く法と向き合ってきた身として、この国に生きる人に伝えたい。日本の憲法が謳う平和主義や基本的人権の尊重は、戦争で犠牲となった人々の無念の上に成り立っている。その精神を忘れず、未来へとつないでほしい。」と力説された5月4日の新聞記事が、最も印象に残りました。

今、国会をはじめ多くの皆さんにより、憲法改正の是非が議論されています。私の小学校の同級生の中には、父親を戦争で亡くされた人もおり、特別な思いでこの推移を見守っております。

5月26日(火)に公表された内閣府「月例経済報告」によりますと、『景気は、緩やかに回復しているが、中東情勢の影響を注視する必要がある。』とのことでした。

今後、時間差で中東危機の影響が本格化していくと思われ、エネルギー部門だけでなく、医療・農業関係等への影響が顕著になり長期化するのではないかと懸念されます。

中東情勢を受けた物価高に対応するため、国は2026年度補正予算案を編成すると表明いたしました。予算の規模は3兆円強で、エネルギー高騰対策に充てる中東情勢等対応予備費の創設を含め、予備費の積み増しが柱となっております。主な内容として7～9月の電気・ガス料金の各家庭への支援額を5,000円程度としております。

先日、「スーパーエルニーニョが10年ぶり予測、世界で今年猛暑・豪雨が発生か」との報道がありました。

エルニーニョ現象は世界各地で干ばつや冷夏などの異常気象を引き起こし、農作物や水産物の収量の減少や水不足など、地域によっては人命にかかわる被害をもたらすことがあります。今年は特に強いスーパーエルニーニョになる可能性があるとのことです。

昨年青木村では大豆が大不作でしたが、今後村の農業等の影響への対策をしっかり行う必要があります。

また、近年地球温暖化が進んだことで乾燥が起こりやすくなり、大規模な山林火災が全国で多発しております。

青木村は、皆さんの心がけのおかげで2年間無火災でしたが、4月19日に当郷管社地区で山林火災が発生しました。幸い発見が早く大事には至りませんでした。焼損面積は約2,200平方メートル、消火に当たったの出動車両は延べ36台、人員は延べ193人、防災ヘリコプターも1機出動しました。

久しぶりの山林火災でしたので、反省すべき事項も多くありました。消防団はじめ関係機関で取りまとめを行い、今後備えてまいります。

この度発表された県内の1人1日当たりのゴミの排出量（令和6年度実施）によりますと、長野県の平均は769g、青木村は618gで県下27位でした。対前年度比で見ますとマイナス5.4%で、減少率は2位でした。

ゴミの減量化は村内二大事業の一つに位置付けられており、村民の皆さんに日頃

から意識して取り組んでいただいた結果です。

昨年、青木村はフィリピンのアロギンサン町と国際交流協定を結びました。

この協定により、国からの地方交付税を受けて、今年度から、フィリピンより4名のALTを派遣していただくことになりました。保育園に1名、小学校に2名、中学校に1名配置し、2ヶ月が経ちました。4名のALTの皆さんの意識は非常に高く、授業の工夫から子どもたちへの寄り添いなど、全力で英語力の向上に向けて、努力をしてくれています。

保育園での活動は、4月はさくら組（年長児クラス）で、保育補助や延長保育での英語の絵本の読み聞かせなどで、園児との交流を深めました。5月からは以上児を対象に、週に1回のイングリッシュタイムが始まり、子どもたちも楽しく英語を学んでいます。

小学校では、英語の授業を複数人で行うことができるようになり、子どもたちが、自分から英語を話す機会が増えました。また、英語の授業を行うためにイングリッシュルームを作ったことで、休み時間もALTがいる教室に子どもたちは遊びに行き、英語のゲームなどを楽しんでいます。

中学校では、日本語を使わず、すべて英語で授業が行われるようになりました。今後は、小学校のALTと一緒に参加して、授業を複数で行ったり、7月には、学校内で、イングリッシュキャンプを行ったりする予定です。新たな取り組みで、子どもたちは英語の授業を楽しみにしています。

今後、青木村の教育の大きな特色として、英語教育の充実を掲げていきたいと思っています。

次に、上田地域広域連合の事業について申し上げます。

5月12日(火)、資源循環型施設整備及び運営に係る入札公告を行い、正式に入札事務を開始いたしました。

地域医療対策については、当圏域の慢性的な医療従事者不足により、救急医療体制が厳しい状況にあります。こうした中、病院の輪番制の継続や、信州上田医療セ

ンターと輪番病院との間でスムーズな転院を目的とする診療連携協定においては9つの病院まで拡大するなど、「上田スタイル」の取組みを確実に行っております。これにより、信州上田医療センターの救急止め時間の短縮など、具体的な成果となって表れております。

さて、3月定例会閉会後から本日までの主な行事についてご報告いたします。

4月1日(水)、令和8年度のスタートの日でした。

役場では新規採用職員1名、学校関係では、小学校の直江 将志(なおえ まさし)校長、森山 知之(もりやま ともゆき)教頭ほか5名、中学校では6名の先生を新たにお迎えしました。

4月2日(木)には「青木村保育園入園式」が、4月6日(月)には青木中学校と青木小学校の入学式が挙行され、人生の新しいスタートに健やかな成長を願い、心からの激励をしました。

4月22日(水)、「青木村戦没者追悼式」を挙行了しました。

遺族会、消防団など関係者が参列し、戦争で亡くなられた方、消防団活動で殉職された方を悼み、平和や安全への誓いを新たにしました。

5月15日(金)、第10期株式会社道の駅あおきの定時株主総会並びに第22回あおき農産物直売所運営組合通常総会が開催されました。

今年度の目標として、「売上 3億6,300万円、来客数 約25万人」を掲げました。

令和7年度一般会計は、5月までの出納閉鎖期間が終わりました。

歳入の村税については、当初予算に対し、約8,000万円、13.5%増の約6億7,200万円となりました。また、企業誘致前の令和4年度決算額と比べると、約2億4,900万円、58.9%の増となりました。

企業誘致は、地域経済の活性化に大きく貢献し、直接的な税収が増えるだけでな

く、消費の増加、新たな雇用創出、所得の増加など、村が持続可能な社会を実現するために、大きく寄与する事業となっています。

昨年に引き続き翌年度への繰越金を確保し、更に、財政調整基金へ6,000万円、公共施設整備基金へ1,000万円、情報通信施設等整備基金へ4,800万円他、合計で1億2,800万円程の積立てを行い、健全財政を確保できたと考えております。これも議員皆さんのご協力によるものです。

また新たに五島慶太翁千曲寮記念奨学基金を創設し、公益財団法人千曲寮様からのご寄付により、5,000万円の積立てを行いました。

令和7年度3月専決補正予算（令和8年3月31日付専決処分）の概要について

一般会計第7号専決補正予算は、歳入歳出それぞれ7,564万円を減額し、総額を35億4,482万7千円とします。

この専決補正予算は各事業の進捗に伴う予算の増減です。

一般会計の主な事業は次のとおりです。

歳入

目	説明	計上額
地方交付税	普通交付税、特別交付税の増	2億8,852万2千円増
一般寄付金	ふるさと応援寄付金の減	△390万6千円減
	五島慶太翁顕彰事業寄附金の増 ・(株)電算様より80万円 ・(公財)千曲寮様より千曲寮解散に伴う清算金118万円	198万9千円増
	財政調整基金繰入金の減	△2億4,400万円減
基金繰入金	公共施設整備基金繰入金の減	△8,472万円減
	情報通信関連事業基金繰入金の減	△2,690万円減

歳出

目	節	説明	計上額
財産管理費	積立金	財政調整基金積立金の増	6,000万 円増
		公共施設整備基金積立金の増	1,000万 円増
		五島慶太翁顕彰事業基金積立金の増 ((株)電算様、千曲寮様、ふるさと納税寄付者か らの寄付金を充当)	197万5千円増
		減債基金積立金の増 (普通交付税再算定による)	559万 円増

詳細につきましては、特別会計と合わせて、教育長並びに担当課長からご説明致します。

令和8年度6月補正予算の概要について

一般会計第1号補正予算は、歳入歳出それぞれ2,907万2千円を追加し、総額を33億8,507万2千円とします。

一般会計の主な事業は次のとおりです。

歳入

目	説明	計上額
農林水産業費国庫補助金	地域農業構造転換支援事業補助金 (農業振興費へ充当)	246万3千円増
商工費県補助金	県地域発元気づくり支援金(採択による) (昆虫資料館事業へ充当)	344万 円増
基金繰入金	情報通信関連事業基金	600万 円増
繰越金	前年度繰越金	1,400万3千円増
雑入	自治総合センター助成金(採択による) (区の備品購入へ充当)	250万 円増

歳出

目	節	説明	計上額
諸費	備品購入費	コミュニティ助成事業備品 (宝くじ助成金事業)	252万8千円増
情報通信サー ビス事業費	委託料	あおきネットワーク保守委託料	426万8千円増
地方創生臨位 交付金事業	負担金補助 及び交付金	公共交通事業継続支援金 (物価高騰対応重点支援金事業)	100万 円増
障害者福祉費	委託料	福祉医療費システム改修委託料	195万5千円増
農業振興費	負担金補助 及び交付金	地域農業構造転換支援事業補助金 (液肥散布用農機具購入補助)	246万3千円増
		有害鳥獣駆除対策協議会交付金 (鳥獣対策用フェンス設置)	302万5千円増
昆虫資料館費	—	チョウのモニタリング調査・展示制作事業 (県地域発 元気づくり支援金事業)	435万8千円増
土木総務費	工事請負費	急傾斜地崩落対策事業に伴う付帯工事 (小倉の湯駐車場造成工事)	250万 円増
	負担金補助 及び交付金	急傾斜地崩落対策事業負担金 (沓掛区湯原)	100万 円増
小学校費	備品購入費	スポットクーラー購入 6台 (体育館へ設置)	59万4千円増
中学校費	備品購入費	スポットクーラー購入 4台 (体育館へ設置)	39万6千円増

以上、補正予算の内容を説明させていただきました。

詳細につきましては、教育長、担当課長からご説明致しますので、ご審議の上、ご議決いただきますようお願い申し上げます、あいさつとさせていただきます。